

新基地建設反対名護共同センターニュース

防衛局「土砂投入」でデタラメ答弁



(左) 安和の岸壁から現場を視察する左から赤嶺、伊波、糸数、仁比、川内氏など野党の衆参国議員 (下) 防衛局との合同ヒヤリング



(上と右) 琉球セメント棧橋に入るダンプの荷台には一目で赤土とわかる土砂が積み、港で降ろされ、ベルトコンベアで台船に積まれていた。

日本共産党や立憲民主党など4野党2会派の野党国会議員らは16日、大浦湾でグラスボートから土砂搬入現場を視察し、名護市安和の琉球セメントの棧橋の埋め立て用土砂の海上輸送現場を調査しました。その後、沖縄県庁を訪れデニー知事や副知事と懇談。謝花副知事は、埋め立て用の土砂が防衛局自ら定めた環境基準を満たしていない場合、再度埋め立て承認を撤回する可能性を示唆しました。また、沖縄防衛局との合同ヒヤリングを行いました。ヒヤリングでは、防衛局側が辺野古の埋め立て土砂投入の際に水の濁りを少なくするための「細粒含有率」10%は護岸で締め切った区域の基準ではないとの考えを示したのに対し、出席議員から「デタラメな答弁だ。環境保全図書にはそんなことは書かれていない。こんな答弁が通用するなら護岸内にはどんなひどい土砂でも投入してよいことになってしまう」と抗議が続きました。

野党国会議員 沖縄で合同ヒヤリング 副知事は2度目の「撤回」を示唆

違法な工事はすぐ中止せよ！
赤土で美ら海を埋めるな！
機動隊は違法工事を取り締まれ！



県民投票キックオフ集会

「2. 24 県民投票を全県民参加で成功させよう」と「県民投票キックオフ集会」を辺野古ゲート前で開かれます。各地「島ぐるみ」からたくさん参加しましょう。

日時: 1月26日(土)午前11時～

場所: キャンプ・シュワブゲート前

主催: 辺野古埋め立て・新基地建設反対の民意を示す県民投票連絡会

規模: 2000名

内容: 各ブロックの島ぐるみ代表あいさつ
オール沖縄の国会議員などのあいさつ

ゲート前で「安倍政権は頭からつま先まで嘘だらけだ！」



雨にもめげず各地「島ぐるみ」から座り込み
キャンプ・シュワブゲート前では17日、冷たい雨が降る中、沖縄市やうるま市などの「島ぐるみ」から約1000人の県民が座り込みに参加。沖縄市やうるま市の代表が発言で県民投票に不参加を表明し、県民の権利を奪おうとしている各市長を批判。
うるま市の伊芸祐徳事務局長は「安倍首相がサンゴは移植していると嘘をつき、自民党衆議院議員の違法な県民投票不参加の圧力に自民党市長がこれに従う。防衛局が基準違反の赤土を海に投入するなど安倍政権は頭のとつま先からつま先まで嘘で固められている。こんな政権に負けるわけにはいかない。正義は県民にある。勝利まで頑張ろう」と訴えました。